

応募方法 タイトルを「オンライン空学」とし、ペンネームと質問内容を添えて次のいずれかの方法で送ってください。

①Eメール (sales@apb.co.jp)
②ハガキ (〒071-1562 東神楽町東2線16-98 旭川空港ビル(株)営業部) ③ツイッタ
ー(井旭川空港質問コーナー)
一次受付期間 9月30日(水)まで
問合せ 旭川空港ビル(株)
☎83-3939 (代表)

建築デザイン科10月生を募集中

障がいをお持ちで求職中の方を対象に訓練生を募集中です。

訓練期間 10月16日(金)～3月23日(火)(6カ月間)

願書受付期間 8月17日(月)～9月11日(金)

選考試験 9月24日(木)

試験内容 国語、数学、面接

問合せ 障害者職業能力開発校
(砂川市焼山60番地、☎012-5152-2774)
またはハローワーク

職業訓練の受講者募集中

求職中で、次の訓練を受講希望の方はお申し込みください。

訓練科 ものづくり機械科、電気設備技術科、ビル管理技術科、ビジネスワーク科(各10～15名)

受講期間 10月2日(金)～来年3月

26日(金)

受講料 無料(テキスト代などの実費は必要)

募集期間 8月5日(水)～9月14日(月)

申込先 ハローワーク旭川(旭川市春光町10番地の58)

問合せ ポリテクセンター旭川(旭川市永山8条20丁目)
☎48-2327 (訓練科)

二ユース 東小・ゆめりんが公共建築賞・優秀賞を受賞!



東川小学校・地域交流センターゆめりんが、第17回公共建築賞「公共建築賞・優秀賞」に選出されました。同施設は2015(平成27)年度北海道赤レンガ建築奨励賞も受賞しており、建築分野の大きな賞としては2つ目の受賞です。

公共建築賞は他の建築賞と異なり、設計・施工のみではなく、地域社会への貢献や施設管理、保全といった視点からも評価が行われることが特徴です。今後とも、町民の皆様から親しまれる施設となるよう運営して参りますので、どうぞよろしくお願いたします。

国際ソロプチミストが不識布寄贈



▲水島洋子氏(左)、本間靖子氏(右)

6月25日、国際ソロプチミスト旭川若葉(須貝悦子会長)より、使い捨て不識布8ロール(1ロール400枚)を寄贈いただきました。新型コロナウイルスがなかなか終息しない中、マスクの下に入れたりテーブルなどを消毒する際に役立ててほしい、と会員のお二人から手渡していただき、市川直樹副町長は「子どもたちや福祉の現場で使わせていただきます」と感謝

を述べました。

花本建設より寄付



6月30日、花本建設(株)(南町1、花本銀行代表取締役)より多額の寄付をいただきました。町の事業に活用させていただきます。ありがとうございました。

北土地籍事業(協組)より寄付



▲田上代表理事(右から2番目)

まで多くの方が利用し、「仲間」「時間」「空間」という3つの「間(ま)」を共有できる場として活用されている。スポーツや出会を通してより幸せになれる場となつてほしい」と謝辞と展望を述べました。

工事はプール利用期間が終了する10月から着工し、ヒーター、水中ポンプ、プールサイドの床の改修や照明のLED化などを予定しています。改修後のお披露目は来年6月1日を予定。生まれ変わるプールにご期待ください。



▲馬場伸二専務(左)より杉山昌次教育長(右)が受領

B&G海洋センター、助成を受けてプール改修決定

このたびB&G財団(前田康吉会長)から2千40万円助成金をいただけることとなり、B&G海洋センタープールの改修が決定しました。7月8日、役場にて行われた授与式にて、同財団の菅原信志理事長は「コロナ禍で社会は健康な心と体の上に成り立つことを痛感した。海洋センターの目的と必要性はより高まること予想される。今後も活発に利用いただきたい」と挨拶し、松岡市郎町長は「同施設は1991(平成3)年に開館し、リニューアルオープンとなる来年はちょうど30周年にあたる。これまで子どもからシニア



▲JAひがしかわが児童農業雑誌を寄贈

JAひがしかわが児童農業雑誌を寄贈

7月14日、東川町農業協同組合(樽井功組合長)より町教育委員会に児童農業雑誌「ちやぐりん」8月号(JAグループ・家の光協会発行)を100冊寄贈いただきました。町内各小学校5年生82名



北海道エア・ウォーターとオフィシャルパートナー協定を締結

に配布するほか、各学校の図書室、児童保育センター、せんとびゅあⅡほんの森に配置します。

今年の8月号は別冊「田んぼの生きもの発見ノート」も付属する夏休み特大号。馬場専務は「わかりやすく農業を学べる本。夏休みを利用して読んでほしい」と話し、杉山教育長は「東川では小学5年生と中学1年生が1年を通して稲作を学んでいる。町の教育の三本柱の一つである『ふるさと教育』に農育、食育がある。世界に誇る東川の農業を学ぶ一助として活用したい」と謝辞を述べました。

「ちやぐりん」は定期購読も可能です。ご興味のある方はJAひがしかわ営農課(☎82-2121)にお問合せください。

6月23日、北海道エア・ウォーター(株)と、8社目となるオフィシャルパートナー協定を締結しました。オフィシャルパートナー制度は、東川町と企業がパートナーとなり、地方や日本、世界の未来を育む社会価値の「共創」を目指す本町の特徴的な取り組みです。

この締結を機に、同社にはリモートワークや社員研修の場として町の施設を利用してもらうとともに、社員向けに「ひがしかわ株主制度」を周知していただくなど、双方にメリットのある連携を進めていくこととなりました。

「社会を明るくする運動」内閣総理大臣メッセージ伝達

7月1日、旭川地区保護司会東川支部(中智支部長)の保護司5名が来庁し、松岡町長に第70回「社会を明るくする運動」内閣総理大臣メッセージを伝達。「安全で安心な国づくりのためには、犯罪や非行を防止し、地域のチカラで立ち直りを支えることで、誰もがやり直し、活躍できる社会を構築する」ことへの理解と協力を求められました。

道の駅みちくさ寄って15年

7月11日・12日、道の駅ひがしかわ「道草館」で開館満15年を記念したイベントが開催されました。

きまぐレビュ



辛や旨や スープカレー

PEPEN(ペペン)のランチタイムで食べられるスープカレーは、スパイス17種類を使った本格ルーに野菜がたっぷり。辛さを調節できるので気分や好みに合わせたり、未知の領域に挑戦するのもワクワクします。スパイスの効能には疲労回復や殺菌作用もあるのでデトックスにも。お肉も食べたい!という方は「豚しゃぶ」や「手羽元」、ハンバーグ、唐揚げでカスタマイズするのがオススメ。スープじゃないカレーやチキン南蛮などもあります。飲食された方はお隣の#NOWカフェのアイスコヒーを250円で注文可。ぜひ食後に!

★テイクアウト可

店名 PUBLIC BAR PEPEPEN
住所 南町1丁目5-6
営業 午前11時～午後1時半(夜はバー営業)

定休 不定休(だいたい月)

電話 73-8812



野菜は季節によって変わります。【内容や値段等は予告なく変わる可能性があります。予めご了承ください。】

きまぐレビュ



オンザグリーンカレー

グリーンカレーとは、香辛料の効いたココナッツミルクベースのタイ料理。口に運ぶとクリーミーな甘さと青唐辛子のガツンとした刺激が同時に広がります(豆乳を使っているのでグリーンの酸味は優しい辛さ)。野菜は東川産のものが惜しみなく入っており、お米はもちるん東川米。お肉をガツン食べたい方にはハンバーグやポークジンジャーもあります。編集担当のオスマットリンクは「生感覚」の強い自家製アップルジンジャー。一度飲んだらクセになる忘れられない味です。★テイクアウト可(ただし暑すぎる日は不可の場合あり)

店名 ON THE TABLE
住所 南町1丁目1-6
営業 (月)火午前11時半～午後7時半、(金)～(日)午前11時半～午前0時(夜は酒場)

定休 (水)第1・3(火)

電話 73-6328



カラフルな野菜が見た目にも嬉しい【内容や値段等は予告なく変わる可能性があります。予めご了承ください。】